
2022年度第1四半期（4～6月）決算について

2022年7月29日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第1四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第1四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2022年度 連結業績予想	．．．	4
□2022年度 配当予想	．．．	5
□参考資料	．．．	6

■ 第1四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第1四半期 (A)	前第1四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	1,760	1,281	478	37.4
営業利益	130	167	△ 36	△ 21.8
経常利益	127	137	△ 9	△ 7.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	104	96	7	8.1
1株当たり四半期純利益	49 ^円 13 ^銭	45 ^円 32 ^銭	3 ^円 81 ^銭	

財政状態

（単位：億円）

	当第1四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	20,290	19,928	361
純資産	2,929	2,857	71
自己資本比率	13.8%	13.7%	0.1%

■ 第1四半期 連結決算の概要

売上高 (増収)	燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加や 小売・他社販売電力量の増加などにより、 前年同期に比べ478億円増加の1,760億円となりました。
経常利益 (減益)	小売・他社販売電力量の増加などはありませんでしたが、 燃料価格の上昇などにより、 前年同期に比べ9億円減少の127億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	濁水準備金引当の減少や 法人税等の減少などにより、 前年同期に比べ7億円増加の104億円となりました。

<2022年度 連結業績予想について>

2022年度第1四半期では利益を確保いたしました。燃料価格の高騰が続く場合には、第2四半期以降の収支は厳しくなると見込まれます。

一方、現在、ウクライナ情勢の長期化などにより、世界のエネルギー事情が不安定となっていることから、原油などの燃料価格が大きく変動しており、燃料費調整額や燃料費を算定することが困難な状況にあります。

また、道内外の今後の電力需給状況や電力市場価格について動向を注視していく必要もあるため、小売・他社販売電力量を見通すことも難しい状況にあります。

このため、2022年度通期の連結業績につきましては、売上高・利益・販売電力量いずれも未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

■ 配当（2022年度 配当予想）

2022年度の間・期末配当予想につきましては、2022年4月28日に公表した数値から変更はありません。

【2022年度 配当予想（1株当たり配当金）】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2021年度 (実績)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2022年度 (予想)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益(売上高)	1,760	1,281	478	37.4
	電気事業営業収益	1,662	1,201	460	38.3
	その他事業営業収益	98	79	18	22.9
	営業外収益	24	18	6	35.6
合計		1,785	1,299	485	37.4
経常費用	営業費用	1,629	1,114	515	46.3
	電気事業営業費用	1,543	1,043	499	47.9
	その他事業営業費用	86	70	15	22.1
	営業外費用	27	48	△ 20	△ 42.2
合計		1,657	1,162	495	42.6
[営業利益]		[130]	[167]	[△ 36]	[△ 21.8]
経常利益		127	137	△ 9	△ 7.0
渴水準備金引当又は取崩し		0	4	△ 3	△ 98.5
税金等調整前四半期純利益		127	133	△ 5	△ 4.2
法人税等		23	36	△ 12	△ 34.3
四半期純利益		103	96	6	7.0
非支配株主に帰属する四半期純損益		△ 0	0	△ 1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		104	96	7	8.1
(参考)	四半期包括利益	101	83	17	21.2

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、当社とご契約いただいたお客さまが増加したことなどから、合計で5,279百万kWh、対前年伸び率5.1%となりました。
- ・他社販売電力量は、他の小売電気事業者さまとの相対取引の増加や再生可能エネルギーの固定価格買取制度に伴う販売量の増加などから、合計で1,748百万kWh、対前年伸び率24.2%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	1,916	2,007	△ 91	△ 4.6
		電 力	361	370	△ 9	△ 2.4
		計	2,277	2,377	△ 100	△ 4.2
	高圧・特別高圧		2,958	2,629	329	12.5
	小計(※1)		5,235	5,006	229	4.6
	その他(※2)		44	19	25	133.3
	合計		5,279	5,025	254	5.1
他社販売電力量		1,748	1,408	340	24.2	
小売・他社販売電力量合計		7,027	6,433	594	9.2	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が97.2%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発 電 電 力 量	(出水率%)	(97.2%)	(112.1%)	(△ 14.9%)	
	水 力	1,240	1,441	△ 201	△ 14.0
	火 力	3,106	2,965	141	4.8
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	35	32	3	11.9
計		4,381	4,438	△ 57	△ 1.3
他社受電電力量※		3,155	2,490	665	26.7
揚 水 用		△ 152	△ 103	△ 49	47.5
合 計		7,384	6,825	559	8.2

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくでんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

(単位：億円)

	当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	1,760	1,281	478	37.4		
電気事業営業収益	1,662	1,201	460	38.3		
2 社 合 計 ※	電 灯 ・ 電 力 料	1,213	976	236	24.2	・燃料費調整額の増加 ・小売販売電力量等の増加
	そ の 他	454	229	224	98.2	・地帯間・他社販売電力料の増加
	地 帯 間 ・ 他 社 販売電力料(再掲)	310	113	196	172.6	
	託送収益(再掲)	115	100	14	14.2	
	子会社・連結修正	△ 5	△ 4	△ 1	—	
その他事業営業収益	98	79	18	22.9		
営 業 外 収 益	24	18	6	35.6		
経 常 収 益	1,785	1,299	485	37.4		

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		1,543	1,043	499	47.9	
2 社 合 計 ※	人 件 費	141	136	5	3.7	
	燃 料 費	403	162	240	148.2	・燃料価格の上昇 ・小売・他社販売電力量の増加
	購 入 電 力 料	449	188	261	139.3	
	修 繕 費	80	94	△ 13	△ 14.6	・発電設備に係る修繕費の減少
	減 価 償 却 費	177	174	2	1.6	
	そ の 他 費 用	295	292	2	0.9	
子会社・連結修正		△ 5	△ 5	0	—	
その他事業営業費用		86	70	15	22.1	
営業外費用		27	48	△ 20	△ 42.2	
支払利息(再掲)		23	23	△ 0	△ 2.5	
経常費用		1,657	1,162	495	42.6	
経常利益		127	137	△ 9	△ 7.0	

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年同期に比べ353億円増加の1,552億円となり、セグメント損益は、小売・他社販売電力量の増加などはありませんでしたが、燃料価格の上昇などにより、前年同期に比べ10億円減少の121億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年同期に比べ196億円増加の754億円となり、セグメント損益は、再生可能エネルギーの買取増加に伴う卸電力販売の増加はありませんでしたが、あわせて買取費用も増加したことなどにより、前年同期と同程度の8億円の経常利益となりました。
- ・その他の売上高は、前年同期に比べ30億円増加の281億円となり、セグメント損益は、建設業における売上原価の増加はありませんでしたが、電気通信事業の携帯電話事業者への回線提供収入が増加したことなどにより、前年同期と同程度の11億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

	当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	1,760	1,281	478
北海道電力	1,552	1,199	353
北海道電力ネットワーク	754	557	196
その他 ※1	281	251	30
調整額 ※2	△ 828	△ 727	△ 100
セグメント損益（経常損益）	127	137	△ 9
北海道電力	121	132	△ 10
北海道電力ネットワーク	8	10	△ 2
その他 ※1	11	9	1
調整額 ※2	△ 14	△ 15	1

※1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

第1四半期（連結決算）－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）

